

SNSを活用した悩み相談等事業「ほっとらいん」報告

1 事業について

(1) 目的

いじめのみならず、不登校・友人関係・家庭環境等を含め、様々な悩みを抱えながら誰にも相談できない生徒に対して、SNSを活用した相談体制を構築し問題の深刻化を未然に防止することを目的とする。

(2) 実施期間

① LINEトークでの相談「トークで相談」…委託業者で相談を受け付け、大学生または心理カウンセラーが相談を受ける。

○令和2年8月24日(月)～令和3年1月9日(土)までの合計32日

○相談受付時間:午後5時～午後9時(4時間)

② 利用者への公開相談「みんなに相談」…教育委員会で相談を受け付け、回答を公開

○令和2年4月20日(月)～令和3年1月9日(土) 24時間受付

※「臨時休校に係るLINEを活用した心のケア事業」から継続して実施した。

(3) 対象者

熊本市立の中学校・高等学校・特別支援学校高等部、熊本大学教育学部附属中学校

熊本大学教育学部附属特別支援学校中学部及び高等部

熊本市内の私立中学校及び私立高等学校の生徒 約3万5千人

2 相談実績について

(1) 相談件数

①「トークで相談」

○1,723名が登録(対象生徒数の約4.8%) ※全国的な平均は1~3%

○293名が利用し、延べ1,249件の相談に対応した。(1日平均39件)

○寄せられた相談には98.3%に対応できた。

②「みんなに相談」

○282件の相談(うち公開274件)に対し、810件の回答。

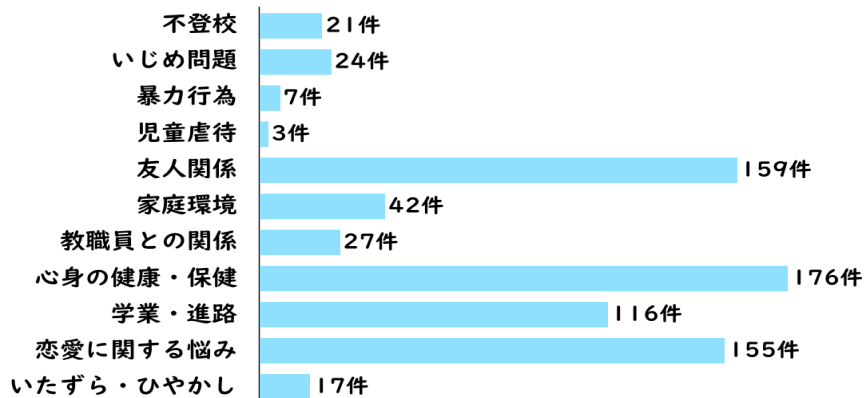
<https://www.kokoro-mamoru.jp>



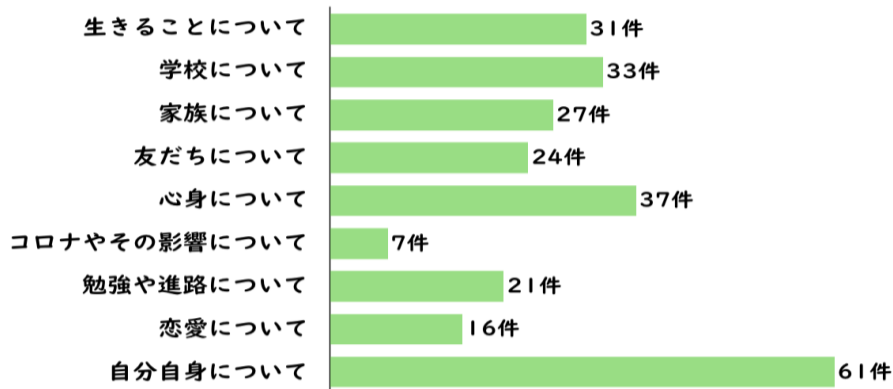
(2) 相談内容

①「トークで相談」…分類できなかった相談を除く747件の内訳

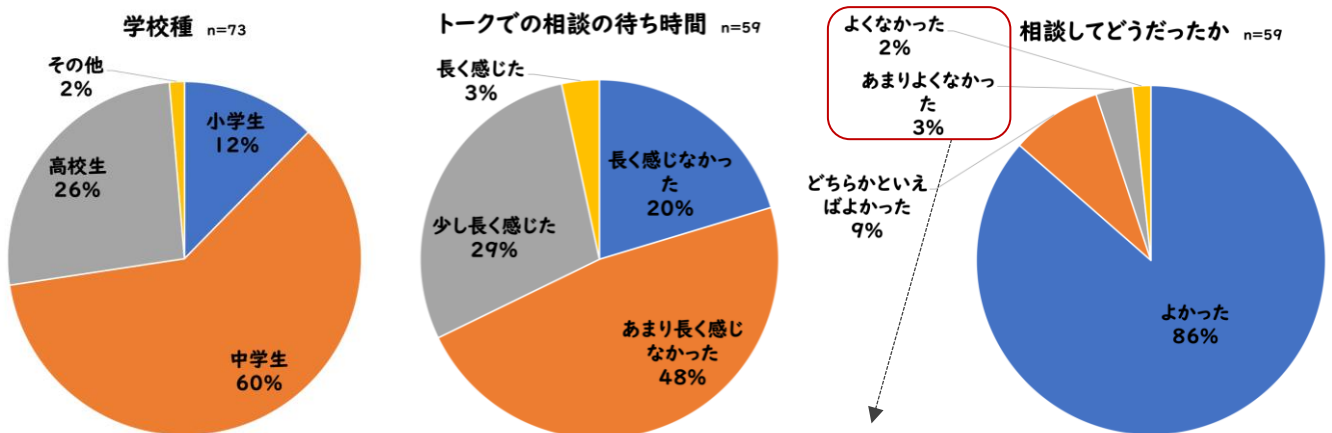
※項目の種類は文科省が示すもの



②「みんなに相談」…分類できなかった相談を除く257件の内訳
 ※項目の種類は熊本市で作成



3 友達登録者アンケートの結果



・途中で会話が切れたり、待つ時間が長かったたりしたので辞めようと思う時が多かったから
 ・ただ同情するだけで相談になっている気がしなかった。

【アンケートでの利用者の声】

①「トークで相談」

- ・コロナでたくさんの不安もあったが、優しく相談にのってくれた。
- ・「ほっとらいん」があるから、毎日頑張ることができた。
- ・あまり知人や家族に相談したくなかったのも、口外されることもなく安心して相談できる良い場所だった。
- ・周りに言ったら笑われるとか相手にされないような悩みも真剣に聞いてくれて嬉しかった。
- ・年齢が近い大学生だったので緊張せずに相談できた。
- ・大学生、心理カウンセラーと相談相手を選べるところが良かった。
- ・大人には理解しづらいことも大学生だったので分かってもらえた。

②「みんなに相談」

- ・自分の悩みを相談してはいないが、みんなが悩んでいることに対して回答した。誰かの役に立てている感じがした。
- ・自分と同じような悩みを持っている人がたくさんいることを知って気持ちが楽になった。
- ・いろんな歳の子の様々な相談を見て、みんなも色々な不安や悩みを抱えながら頑張っていると勇気をもらった。
- ・様々な年代の人からアドバイスや励ましをもらって嬉しかった。